

平成30年 8月

# SSHだより 海外研修特集号

都立日比谷高等学校

## 米国西海岸シリコンバレー(サンフランシスコ・サンノセ) & ハワイ島海外派遣研修

### 《世界のイノベーションの中心、米国シリコンバレー》と《地球規模的サイエンス》の体験的学習

今年の海外研修も前半は、世界のイノベーションの中心である米国西海岸シリコンバレーを訪れました。大手グローバル企業でのシリコンバレー研修、名門 Stanford 大学研究室訪問、UC バークレーでの学生との交流等行いました。後半は、太平洋のハワイ島を訪れ、Hawaii 大学で最新のキラウエア火山についての講義、すばる天文台麓施設での研究者との交流、ダイナミックなレインボウの滝を見学するなど別の視点からいろいろと学びました。積極的な英語によるコミュニケーションを行い、今年も実りあるSSH海外派遣研修となりました。

### ◎San Jose から San Francisco へ

今年は8月20日から27日の6泊8日で実施しました。前半は米国西海外のシリコンバレー(サンノセ市からサンフランシスコ市に渡り多くの企業が集結するペイエリアの一角を指します)訪問です。成田からサンノセに到着後、国道101号線を利用してサンフランシスコに向かいました。国道沿いには、世界的に有名な多くのコンピュータ、半導体関連のメーカーのビルが目に入ります。Pier 39、Golden Gate Bridge を通り、最初の目的地である California Academy of Sciences カリフォルニア科学アカデミーを見学しました。地球規模的視点からサイエンスとしての植生、生物、海洋生物、生態、環境、鉱物、地震、その他、多くの事を体験的に学びました。



サンノセダウンタウン



国道101号線



Pier 39



Golden Gate Bridge



California Academy of Sciences

### ◎FUJITSU OIG 《Open Innovation Gateway》 訪問

富士通OIGは、アイデア創出からビジネス化に向け、社内やビジネスパートナーが共同で取り組み、イノベーションを加速させるプラットフォームで、富士通がシリコンバレーに創設した重要な最前線の戦力部門です。今回も、関係の皆様方にお世話になり、シリコンバレー研修を受けました。特に後半は、与えられた課題についてグループでアイデアを出し合っ、英語でプレゼンし、スタッフの方々から助言を頂きました。シリコンバレーの歴史、理念、そこで仕事をしていくための考え方など、生徒達は、将来の技術革新に向けて多くのことを学びました。



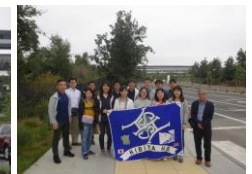
### ◎The Computer History Museum & Intel Museum 訪問



7月19日に東京大学安田講堂での全校生徒参加の「SSH特別講演会」で講演して頂きました三浦謙一先生に直接、館内を一つひとつ案内していただきました。コンピュータの歴史や半導体、先生御自身の体験等お聞きし、多くのことを学ぶことが出来ました。

### ◎Apple Park

シリコンバレーを象徴するアップルの巨大なドーム型新本社に立ち寄りました。通勤風景に遭遇するとともに、その大きさに圧倒されました。その全貌を見るには空から眺めるしかありません…。



## ◎Stanford University 訪問

広大で緑豊かな美しいキャンパスをもち、全米で屈指の名門 Stanford 大学 The Department of Biology の研究棟を訪れました。2017 Dimensions of Biodiversity Award を受賞された深見先生、コスモス国際賞を受賞された G.Daily 先生達の下で研究されている博士課程、研究者の方々、コスタリカで鳥の研究に従事されている先生の4名の方々から、それぞれ御専門の講義を受けることが出来ました。生徒達も英語で様々な質問をし、フィールドワークでの調査、DNA 解析などの研究室での仕事、コンピュータを使ったデータ分析等の必要性を知ることが出来、Stanford 大学生物学科での研究の雰囲気を肌で感じる事が出来ました。



## ◎University of California, Berkeley 訪問

UC Berkeley は、1868 年創立で 70 人以上のノーベル賞受賞者を輩出している「パブリック・アイビー」の1校として全米公立大学ランキングでは常に 1 位を維持し、スタンフォード大学と長年ライバル関係にあります。宇宙物理学専攻で本校卒業生の村上君と友人で経済学専攻のマーチン君の2人により、《英語による解説案内及び質疑応答による交流を通じたキャンパス見学》を行いました。歴史と伝統ある図書館の建物、各学部の研究棟、ノーベル賞受賞者専用の駐車場、物理学講義室、SatherTower 等、翌日から授業がある学生で溢れていた活気あるキャンパスを探訪しました。



# The Big Island of Hawaii

## ◎University of Hawaii at Hilo 訪問



University of Hawaii System に所属する大学の1つで、略称は、UH Hilo。約 3,500 人の学部生と約 600 人の院生が在籍しています。教職員数は約 300 人。多様性と国際性に富み、近年では全米で 6 番目に最も多様な民族が集まる大学としてランク付けされています。

25 日は、ハワイ大学ヒロ校出身の現地ガイドの方にキャンパスを案内していただき、留学センターの職員からは、ハワイ大学の特徴、学生生活、その他いろいろと英語で説明して頂きました。翌日の 26



日は、ハワイ大学 CSAV (The Center for the Study of Active Volcanoes) の Director である Don Thomas 博士により、Geology 教室においてキラウエア火山に関する講義を受けました。特に、今回の噴火についての最新情報についてお話を受けることが出来、生徒達も熱心に英語で質問し、ハワイ大学の雰囲気を感じ取りました。



Rainbow Falls



Gemini Observatory

## ◎すばる天文台山麓施設訪問

すばる天文台山麓施設を訪問しました。7月にスカイプによるテレビ会議で事前指導していただいた嘉数悠子博士の案内で施設内を見学しました。マウナケア山の山頂にあるすばる天文台での観測を麓の山麓施設で行えます。また、2012 年 MacArthur Genius Award を受賞された系外惑星探査で世界的に有名な Olivier Guyon 博士にも



お会い出来、直接 PANOPTES project の説明 UKIRT Observatory を受け、活発な英語による質疑応答が行われました。

※今回の海外研修の成果について、今後の学校説明会及びSSH成果報告会等で、参加生徒達が報告いたします。

